

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ailee		
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～ 令和8年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日		～ 令和8年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度 ⇒児童が「楽しい!」「通いたい!」と感じ、事業所に通うことで日々の学校を頑張る事の活力になるような環境づくりを意識しています。	事業所の活動プログラムの実施だけでなく、児童のやりたいことをピックアップした上で活動内容を決めています。	今後も、利用者主体のサービス提供を意識した上でそれぞれの児童や保護者に最善の利益が与えられるよう取り組んでいきます。
2	保護者への説明等(日常の情報共有と保護者対応の丁寧さ) ⇒日ごろの送迎時の顔合わせ時だけでなく、公式ライン等やInstagramなどSNSを通して日々の様子を細かく伝え、こまめな情報共有を大切にしています。	送迎時の情報共有だけでなく、LINE等を用いて個別連絡や相談の対応等を行っています。	引き続き、日ごろの口頭での情報共有だけでなくSNSやだより等も活用しながら保護者様の負担軽減に繋がるような信頼関係の構築を図っていきます。
3	環境・体制整備 ⇒活動空間や事業所の立地など、自然の中にある平屋での療育を行うことでのびのびと過ごす事が出来ている。	家庭に近い環境での療育を行うことで質の高い支援を行うことができより成長に繋がると考えています。	今後も庭の手入れなど日常的にできることを行いながら、常に児童優先の環境を提供できるよう部屋の模様替えや備品の配置変更等を行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応 ⇒避難マニュアルなどの周知が全体的にできていない状況があります。	児童との共有に意識を持っていきすぎたため、保護者様までしっかり情報を共有できていなかったと思います。	今後は、避難訓練を行う際には事前に保護者様へもマニュアルを共有した上で訓練の実施を行っています。
2	環境・体制整備 ⇒指定基準を遵守した上で必要最低限の人数で運営している状況があります。	昨年11月にオープンしたばかりだったため、スタッフの増員に関して必要性を感じていなかったです。	少しずつ児童も増えてきているため、スタッフの採用を進めていきます。 また、専門的な支援を行うことができるよう有資格者の採用を積極的に行っています。
3	適切な支援の提供 ⇒保護者交流会や地域の児童クラブとの交流などを増やしていく必要があると考える。	オープンして間もないこともあり、まだ必要性を感じていませんでした。	今後は感染症など社会の状況をみながら、安全にイベントが実施できるタイミングを見て早期の開催を目指していきます。